

平成八年歌会始御製御歌及び詠進歌

苗

御製

山荒れし戦いくみくの後の年のち々に苗木植としとしゑこし人のしのばる

皇后陛下御歌

日本列島田みごとの早苗そよぐらむ今日わが君も御田みにいでます

皇太子殿下

子供らと苗木植いゑつつ我祈る健やかに育て子らも苗木も

皇太子妃殿下

もろ手もちてひたすら花の苗植いうる知恵おそき子らまなこかがやく

文仁親王殿下

雨の中を龍神の山に苗植いゑぬ早く伸びよと願ひを込めて

文仁親王妃紀子殿下

三年みまへきみが植いゑまししオンブーの苗は樽形に幹いふくらめり

清子内親王殿下

金色こんじきに咲きはゆる頃またとはむイペーの苗木風いにそよげり

正仁親王殿下

火をふきて五年いすぎし普賢岳人ら植いゑたる苗みどりなす

正仁親王妃華子殿下

ワシントンの植物園よりおくれし木蓮の苗ことし花さく

宣仁親王妃喜久子殿下

桐の花しづかにさける山あひの田に苗植うる人は老いたり

崇仁親王殿下

とつくくにに櫻の苗木植ゑて祈る友好親善と世界平和を

崇仁親王妃百合子殿下

もみぢする雑木の山のひとところ杉の苗木はさみどりに見ゆ

寛仁親王妃信子殿下

心こめて育^{はぐ}くむ苗代小さき芽のいでしがうれし春の朝^{あした}に

憲仁親王殿下

大君が手に植ゑましし早苗田をそよがせてさつきの雨ふりそそぐ

憲仁親王妃久子殿下

この春に子らが買ひきて植ゑし苗みのれる茄子は紺の色濃き

召人 加藤克巳
希ひこめ心に植ゑし一本の苗すくすくと伸びつづけゆく

選者 千代國一
月桂の苗を人くれ繁る枝の冠は勝者ならぬ吾が上に

選者 田谷 鋭
幼な苗山田の水に葉の丈のうち伏すあれど育ちゆくべし

選者 武川忠一
よき年に今年はなれよ山茶花の苗木の花のくれなる深し

選者 岡野弘彦
神の田の早苗のみづを畔放ちてわがすさをやさびしかりけむ

選者 岡井 隆
根を包むあたらしき藁匂ひつつわがうちに立つ花の木の苗

選 歌 (詠進者生年月日順)

徳島県 佐藤正義
後ずさりしつつ山田に手植ゑする早苗がすぐに青き風生む

青森県 福士重治
青紫蘇の匂へる苗を盲ひわが指にて尺を取りながら植う

東京都 若林科子
目残しも浮苗もなくひつそりと田植機が来るさざ波立てて

三重県 石川良夫
土石流に埋まりし棚田に杉苗を植ゑて人らは村を去りたり

長野県 北村柳次
地すべりの傷あと残る山肌に命綱つけ苗木植ゑゆく

愛知県 久米すゑ子

遙々とクブチ砂漠にポプラ苗うゑむと出で発つ若きらの夏

岩手県 高橋洲美熙

野薊のとげ荒く咲く田の畔くろの際より先づは苗を植ゑゆく

ブラジル国
サンパウロ州 新井知里

しその苗抱いて帰りて水やれば日本がそこに舞ひ降りてくる

東京都 松下正樹

地震なみに割れやうやく均す島の田にうからが寄り合ひ早苗植ゑゆく

アメリカ合衆国
カリフォルニア州 岩見純子

吾も在りし二十世紀をセコイアの苗木はつなく三十世紀に

佳 作 (詠進者生年月日順)

宮崎県 中山貫次

老い妻とひと日ひと日をながらへて春菜の苗に朝の水撒く

大分県 近藤正二

田植機の植ゑ行く速度はかりつつ畦に早苗の箱を置きゆく

静岡県 金原貞子

さくらの苗木担ふ若きに従きてゆく中の千本朝靄の径

青森県 工藤精一

水槽のあはびの種苗百万個青き泡たて放流日待つ

山口県 桐山 章

被災地にいまだ帰れぬ疎開児の黙もだしがちにて早苗を運ぶ

富山県 扇浦正男
かすかなる夜の雨音ききみつ今日植ゑし田の苗思ひをり

福島県 内藤チイ子
夫の遺志継ぎて植ゑたる杉苗のみどりの穂先みな天を指す

岐阜県 和田久代
ひのき苗背負ひ来し日を語りつつ雪舞ふ山に夫と枝打つ

山形県 奥山雪雄
飛島へ茄子苗積みし船の発つ梅雨もよひなる十里の潮路

愛知県 金田一之
なげきつつ父は植ゑけむ杉苗の秀が立ちそろふ峡の棚田に

山口県 長沼邦子
さみどりの早苗のごとき新入兒ら担任となる我を見つむる

奈良県 中永ちえ子
休耕の長かりし田に水張りて植ゑゆく早苗幻のごと

東京都 岩本文子
一日を言葉少なく居る母にパンジーの苗色あまた植う

神奈川県 中城サト子
ベランダに朝顔の苗持ち帰り一年生に夏は来にけり

ブラジル国 興梶太平
ミナス・ゼラエス州
コーヒーの苗百万本を植ゑ終へて思ふは日向の植林の山

千葉県 藤井昌子
水槽に鮑の種育苗ちをり数ミリなれどあはびの形

東京都 池田一美

サハラ砂漠の南下阻むと日本の若きらが植ふるアカシアの苗